

# ふれあい通信

新年度がスタートしました。一昨年の自然災害は、町内全域に甚大な被害をもたらしました。その災害復旧にはこれまで全力で取り組んでまいりましたが、未だ完了していない箇所があり、町民の皆様には大変ご不便をおかけしております。1日も早く元の生活環境を取り戻せるよう努めてまいります。

喫緊の課題として、新型コロナウイルス感染症の問題があります。広報等で再三お願いをしておりますが、不要不急の外出を自粛し、3密を避け、新しい生活様式での日常生活に切り替えていくことについて、皆様のご理解とご協力をいただいてきたところです。

こうして一人ひとりが感染症対策を行つてきましたにもかかわらず、今年に入つて再び緊急事態宣言が発令されました。3月22日には解除となりましたが、今、変異株ウイルスの感染が拡大しており、全国的に第4波の入り口に差し掛かっています。既に第4波に入ったともいわれており、本県も「まん延防止等重点措置」が始まりました。こ

の措置は特定の地域に限られていますが、その影響がどこまで及ぶのか不透明なところです。

そうした中、ワクチン接種については、長

生郡市の7市町村で連携し、協力して接種体制を構築しています。高齢者の方々には、予防接種券を発送していますが、今後は予約受付センターに電話しての接種の予約や、パソコンやスマートフォンならご自身で予約をしてもらうことになります。ですが肝

心のワクチンの手当の目処がたつていません。接種時期については、追つてお知らせすることになりますので、接種券はそれまで大切に保管していただきたいと思います。

今回も国から感染症対応として、第3次臨時交付金の交付があります。この交付金をこれまでと同様、感染症予防のため、地域経済の活性化のために有効に活用したいと考えています。今後とも感染症対策には、万全を期してまいります。

さて、3月定例議会において令和3年度の予算が成立しました。町政運営の基本的な考

えや重点施策については、広報4月号の「施政方針」で述べておりますので、ご覧いただきたく思います。本年3月に策定した「第5次総合計画」に基づく町政運営を行い、将来にわたつて地歩を固める年にしたいと考えております。

新規事業として、小中学校の学校給食費を無償化とし、保護者の教育費負担の軽減を図ります。また、野球場、体育館、プールといつた社会体育施設を管轄する海洋センターに「指定管理者」を置き、スポーツ施設の管理運営を担わせることにしています。これは、民間のノウハウを活かし、多様化する住民ニーズに対応できるよう導入するものです。今後も「誰もが健康でいきいきと安全に暮らせるまち」を目指し、本町の特徴を活かした自立的かつ持続可能なまちづくりに精一杯努めてまいります。皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



長南町長  
平野 貞夫

SADA<sup>SMILE</sup>  
No.38